

令和 3 年度 宇都宮市立平石北小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

（1）基本目標

心身ともに健康で、自ら考え主体的に行動し、徳・知・体の調和のとれた人間性豊かでたくましく生きる児童を育成する。

～ 心ゆたかで かしく たくましく ～

（2）具体目標

- ・思いやりがあり協力し合える子（心ゆたかで）
- ・進んで学び自ら考える子（かしく）
- ・心と体をきたえる子（たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

— 楽しく「学び」・勇気をもって「チャレンジし」・みんなで「支え合う」活気ある学校経営の推進 —

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）目指す学校の姿（本校の使命） 「活気あふれる地域の学校」

- ①夢や意欲がもてる学校
- ②心豊かで思いやりのある児童が育つ学校
- ③互いの個性やチャレンジを認め合える学校
- ④保護者・地域から信頼され魅力のある学校

（2）目指す教職員像

- ①自己のキャリアを高めようとする意識の高い教職員
- ②人間性・社会性豊かで信頼される教職員（学校スタッフとの連携）
- ③学校組織の一員として学びあい、協働し支え合う教職員

（3）「平北プロジェクト」（本校教育の重点）の策定と全教職員による実践推進

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

自分でよく考え 未来に向かって たくましく生きる子供の育成

4 教育課程編成の方針

社会に開かれた教育編成のため、カリキュラムマネジメントの視点から、一貫性、相互関連性のある教育課程・各種年間指導計画を作成し、教育活動を展開する

- ① 各教科の教育内容を相互関係でとらえ、教育横断的な視点で内容を組織的に配列する
- ② 子供たちの姿や地域の現状に基づき、教育課程を PDCA サイクルで実施改善する
- ③ 小規模校の特性を生かし、教育内容と地域等の外部も含めた人的・物的な資源を効果的に組み合わせる。（各種ボランティア・平北ファーム・高齢者との交流活動等）

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

- ・学校マネジメントシステムを生かした活気あふれる地域の学校づくりの推進
- ・育てたい児童の姿を明確にした教育活動の充実
- ・勤務の効率化を意識した働き方の推進
- ・教職員一人一人のキャリアアップと高い同僚性を十分に生かした組織力の向上

【 学 習 指 導 】

- ・「安心して考えを伝え合い、互いに高め合える学級集団の育成」～I want to～ のある授業を目指して～

【 児 童 生 徒 指 導 】

- ・互いを認め合い、思いやりの心を育むとともに、時と場に応じたあいさつができる児童の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・自ら進んで安全な生活を送り、心と身体の健康づくりに取り組む児童の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど進んで学習に取り組んでいる」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答 85%以上	① 「校長先生からの挑戦状」やレンジャーシール、学習コーナーなどの活用を見直し、さらに児童の学習意欲を高める。 ② コロナ禍の中でも可能で多様な学習形態を取り入れ、言語活動を生かした表現の場を設ける。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 「誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 各対象 肯定的回答 85%以上	① 道徳や学級活動の授業の中で、親切や思いやりについて考え、話し合う場を設ける。 ② なかよし班活動などの異学年活動を通し、上級生は一層の自覚が生まれ、下級生は上級生に対する憧れの気持ちがもてるような取組を行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 「児童は、きまりやマナーを守って生活している」 各対象 肯定的回答 85%以上	① 「ひらきたよい子の一日」を、児童の実態に合わせて見直し、全職員で共通理解する。 ② 「ひらきたよい子の一日」の振り返りを行い、児童の頑張りを認めていく。 ③ 帰りの会において、生活目標の振り返りやよい行いを認め合う場を設定する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 各対象 肯定的回答 80%以上	① クラス単位で「さわやかあいさつ運動」を実施し、学校園あいさつ運動も取り組んでいく。 ② 各種たよりや学級懇談会、HP 等であいさつに関する取組を家庭に知らせ、児童が時と場に応じたあいさつができるよう、家庭と協力できるようにする。 ③ レンジャーシールを活用し、児童の取組を認め、称賛する。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 「夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答 80%以上	① 持久走記録会やなわとび検定では、カードの活用を図り、達成感を味わう機会を作る。 ② 「校長先生からの挑戦状」を活用し、児童の行いを認め称賛することで、目標に向けて粘り強く取り組めるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 「健康や安全に気を付けて生活している」 各対象 肯定的回答 90%以上	① 児童が健康・食育・安全を意識しながら生活できるよう場面に応じた具体的な指導を継続して実施する。 ② 定期健康診断や各行事等を状況に応じて計画的に実施するとともに、コロナ等の感染対策をしながら体験活動を通した健康・食育・安全教育に取り組む。 ③ 随時、各種たよりや学級懇談会、HPなどで情報の発信・提供を行うなど、保護者への啓発活動を継続する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 「夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答 80%以上 【再掲 A 5】	① 家庭や地域との連携による体験学習や出前授業を取り入れ、児童が夢や目標を持てるように、働くことの大切さや喜びを実感させる教育活動を展開する。 ② 地域協議会と連携した「生き方講演会」の実施や宮・未来キャリア教育の充実を図るために各教科や特別活動、道徳等との関連を図り、年計への位置づけを行うとともに、キャリアパスポートの有効活用を図る。 ③ 各種たより、HP、学校公開等の機会を通し、教育活動を積極的に発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 「児童は、外国語の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションをしている。」 児童、教職員対象 肯定的回答率 85%以上	① 担任や担当者がALTと十分に打合せを行ったり、教材研究を行ったりして、進んでコミュニケーションを図ろうとする授業づくりを行う。 ② 状況に応じ、ALTとの給食や昼休みのALTによる読み聞かせやゲーム、他授業などの交流を通して、学校生活で英語を使う機会を設ける。	【達成状況】 【次年度の方針】

A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 「児童は、宇都宮の良さを知っている」 児童，教職員，保護者対象 肯定的回答率80%以上	① 生活科や総合的な学習の時間の年計において自校化を図り，平石地区や宇都宮市を教材とした学習を展開する。 ② 地域の情報を収集し，HP や各種たよりに掲載して情報を発信するとともに，地域の良さを実感できるような児童や保護者の地域活動を推進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A10 児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。 【数値指標】 「ICT 機器や図書等を学習に活用している」 児童，教職員，保護者対象 肯定的回答率80%以上	① 児童がコンピュータや情報機器ネットワークなどの情報手段に親しみ，適切に活用する能力を育成できるよう，授業において積極的に ICT 機器を活用する。 ② 各学年の授業内容の関連に配慮した教育図書の整備充実等，学校図書館の環境整備に努める。 ③ GIGA スクール構想の取組を随時HPや各種たよりで発信していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 「誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している」 各対象 肯定的回答85%以上 【再掲 A2】	① 「感謝の会」の準備・本番を通して，感謝やいたわりの気持ちを実感できるようにする。 ② 花壇ボランティアと作業を一緒に行うなど，高齢者と触れ合う場面を増やす。 ③ 3年総合的な学習の時間における，高砂荘交流，1・2年生活科の時間における，むかし遊び交流等を継続して実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A12 児童は、「持続可能な社会」について，関心をもっている。 【数値指標】 「環境問題や防災等の『持続可能な社会』について，関心をもっている」 児童，教職員対象 肯定的回答率80%以上	① 総合的な学習の時間や学級活動，道徳等を通して，環境問題について考え，日常生活に生かすようにする。 ② 学校農園活動や親子ふれあい作業等を通して，「持続可能な社会」について，考える機会をもつ。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B1 児童は正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 各対象 肯定的回答80%以上	① 道徳や学級活動で言葉づかいについて考え、話し合う場を設け、児童のよい行いを称賛したりする。 ② 各種たよりや学級懇談会、HP等で学校での取組を伝え、家庭でも言葉づかいについて考える機会をもってもらようようにする。 ③ 生活目標に「正しい言葉づかい」を位置づける。	【達成状況】 【次年度の方針】
目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 「特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員対象 肯定的回答率90%以上	① 今後も特別な支援を必要とする児童の教育的ニーズに応じた支援を行っていく。 ② 必要に応じ外部機関との連携を図ったり、特別支援学級担任の専門的な知見を教職員で共有したりして、特別な支援を必要とする児童への支援の方法について研修を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる」 各対象 肯定的回答80%以上	① いじめゼロ強調月間に合わせて道徳の授業を継続して実施する。 ② いじめゼロに関するアンケート・標語・名札の着用等を通じて意識の向上を図る。 ③ 児童会や平北レンジャーと連携し、いじめゼロ運動を計画的に実施する。 ④ 各種たよりや学級懇談会、HP等で児童の取組を発信していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 「教職員は、一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合う学級経営を行っている」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答90%以上	① 児童指導情報交換会やいじめ等対策委員会（不登校対策含）、ケース会議等で児童の様子についての共通理解を図り、対応策を検討していく。 ② SCM及び特別支援コーディネーターを中心に、様々な外部組織とつながった対応を継続して進めていく。	【達成状況】 【次年度の方針】

A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 「特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員対象 肯定的回答率90%以上 【再掲 A13】	① 関連機関と連携を図り、該当児童の存在や状況を把握していく。 ② 校内支援委員会等において、特別な支援を必要とする児童についての共通理解を図り、対応策を検討していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」 各対象 肯定的回答90%以上	① 児童会と平北レンジャーが連携し、計画的に活動を実施する。 ② 各種たよりや学級懇談会、HP等を活用し、クラスの様子や学校での活動の様子を積極的に発信していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材研究を工夫するなど、きめ細かな指導をしている。」 児童・教職員・保護者対象 肯定的回答90%以上	① 算数において、TTや少人数・習熟度別学習による分かる授業を展開する。 ② 朝の学習において全学級に担任外の職員が支援に入る体制をつくるなど、個に応じた指導の充実を図る。 ③ 校内研修サポート事業や要請訪問、一人一授業などの校内研修や日々の教材研究を通し、教員の授業力を高めていく。 ④ HPや学年だよりで授業の様子を紹介したり、授業参観や学級懇談会等で児童の学びについて伝えたりしていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 「学校に関わる職員全員チームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 教職員対象 肯定的回答90%以上	① PDCAサイクルによる学校行事精選や校務分掌の見直しを図る。 ② 教職員の多様な専門性を活かし、役割分担を明確にすることで、効率的な業務遂行を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 教職員対象 90%以上	① 学校支援スタッフとの連携を充実させていく。 ② 学校行事の反省、教育課程の振り返りなどを通し、学校運営の見直しや行事の実施方法の改善を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 「学校は、小学校と中学校が連携した取組を行っている」 各対象 肯定的回答 80%以上	○①コロナ禍における学校園での取組について検証し、児童・生徒間の交流、各部・分科会での教職員の交流を図る。 ○②小中一貫教育・地域学校園における取り組みについて、各種たよりや HP、校内掲示等で積極的に発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 「学校は、家庭・地域・企業等と連携して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 各対象 肯定的回答 85%以上	① コロナ禍で可能な活動を検証しながら、地域協議会、まちづくり協議会との連携を強化し、ボランティア活用の活性化を図る。 ② 学校支援ボランティアや地域の大学・企業・施設の活用を年計に位置づける。	【達成状況】 【次年度の方針】
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 「学校は、家庭・地域・企業等と連携して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 各対象 肯定的回答 85%以上 【再掲 A23】	① 地域や PTA との連携をさらに推進し、地域に根差した特色ある学校づくりを目指す。 ② 地域コーディネーターを窓口とした学校支援ボランティアの活用を推進する。 ③ 各種便り、HP 等により教育活動を積極的に発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 「学校は、利用者の安全に配慮した環境づくりに努めている」 教職員、保護者、地域対象 肯定的回答90%以上	① 学校の取組などを各種たよりやHP等により、家庭や地域へ積極的に発信する。 ② 毎月の安全点検の実施により、危険箇所の周知を図り修繕箇所への迅速な対応に取り組む。 ③ 台風や雷雨等、気象災害への迅速な対応とメール配信時の開封確認の徹底により、保護者への確実な情報提供を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 「ICT機器や図書等を学習に活用している」 児童・教職員・保護者対象 肯定的回答80%以上 【再掲 A10】	① 学級文庫の充実やICT機器の整備を図る。 ② ICT機器や図書を活用した授業に関しての研修の場を設ける。 ③ 各種たよりやHP等で、ICT機器や図書を活用した授業の様子を発信したり、授業参観等において、ICT機器や図書を活用した授業を実践したりする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 学校マネジメントシステムを生かし、コロナ禍に対応した教育活動の継続的な改善に努めている。 【数値指標】 「保護者や地域住民の建設的な意見を学級経営や授業改善に生かそうとしている」 教職員 肯定的回答90%以上	① 教職員による評価や学校公開のアンケート等を活用し、教育活動の改善に努める。 ② 校内評価委員会やプロジェクトチーム等を活用し、教育活動の改善に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	B3 いろいろな分野の本をたくさん読み、読書への関心や読み取る力の育成に努めている。 【数値指標】 「児童は、進んで読書に取り組んでいる」 教職員、保護者、児童対象 肯定的回答 80%以上	① 学校図書館司書と連携・協力して図書館のさらなる活用を図る。 ② 図書室のイベントや家読などの取組を継続しつつ、今年度もHPや各種たよりでさらに発信していく。 ③ 家庭での読書量が増えるよう、週末の宿題などでの家読を継続して実施していく。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。